

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	中津川市家庭教育支援チーム (呼称:すくすくわくわくまあるいこころ)
②活動拠点	中津川市ひと・まちテラス3F
③活動範囲	中津川市全域
④組織体制	46人 岐阜県子育てマイスター、中津川市子育てマイスター、 家庭教育支援スタッフ、家庭教育支援員
⑤活動開始年度	平成21(2009)年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 特定非営利活動法人 Viva 中津川 事務局 小川弘美 (TEL) 080-7589-1728 (E-mail)maaruikokoro1111@yahoo.co.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施
③活動内容	【具体的な活動内容】 ・親子交流行事等の講師、イベント企画運営 他団体が開催する行事等で、親子ふれあい遊び、手作りおもちゃ、バルーン、読み聞かせ等、親子がふれあうことの楽しさ、大切さを伝えている。

	<p>・子育て支援拠点事業 子育て支援センターの業務受託 保護者同士の交流の場として、週1回の読み聞かせの会、子育てサロン、ねんねの赤ちゃん会、手作りおもちゃの会を毎月各1～2回開催している。</p> <p>また、いつでも気軽にお子さんの身長体重を測定できる機会を設けている。こうした中から、お母さん同士をつなげたり、悩み相談を受け、必要に応じて行政の各部署へつなげたりしている。</p> <p>・集団託児支援 行政、学校、企業等が開催する乳幼児健康診断、講座、会議、授業参観、イベント等において、子育て中の親さんが参加しやすいように、集団託児を行っている。支援センター内では、一時預かり業務を開始し、通院、美容院、リフレッシュなどの理由に関わらず子どもを預けることができ、大変好評である。</p> <p>・公民館における家庭教育学級の支援 市内の各公民館が開催する乳幼児期家庭教育学級の企画・運営・サポートをしている。行政担当者と学級生をつなげ、母親である学級生の意見を学級運営に反映し学級生が自主的に取り組める体制を補佐していく役割を担っている。</p> <p>この他にも、幼稚園、学校への読み聞かせ活動や行政開催の子育てマイスター養成講座、健康医療課が開催するパパママ教室の家庭教育支援に関する講師やサポートをしている。</p>
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<p>・行政が開催する子育てについて学ぶ講座を通して、子育てに悩む保護者が、悩みを共有したり、リフレッシュしたりすることで、また子育てを頑張ろうと思える機会が多くなり、子育てを楽しむ保護者の姿や、コミュニティとつながることができる保護者が増えた。</p> <p>・地元にいる母親経験者たちである家庭教育支援チームのメンバーが、集団託児、子育て支援センター、講座の企画運営・講師等として、1年を通して毎日6～7人くらいのメンバーが活動していることから、より身近に家庭教育支援を感じてもらうことができ、アンケートでは中津川市で子育てできて良かった、子育てがしやすい街であるという意見が多く聞かれるようになった。</p> <p>・子どもが幼稚園に入ったころから少しずつ社会復帰していく場の一つとして、家庭教育支援チームのメンバーになり、活躍する女性が増えた。また、家庭教育に関心を持つ人が増え、幼保育園、小中学校のPTA活動に積極的に関わる人材、民生児童委員としてまちづくりで活躍する人材が増えている。</p>

	<p>・シニア世代の方が、「昔の子育てはこうだった」ではなく、今どきの子育てについて学ぼう、空いている時間を子育て支援に活かそうという方が増えてきた。</p>
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:地域における家庭教育支援基盤構築事業)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (中津川市ひとまちテラス子育て支援センター受託業務)</p>